

# 岩手県広域サイクリングルート

～魅力溢れる 4 つのルートが

県内の 33 市町村をつなぐ～



岩手県 県土整備部 道路環境課

## 1. はじめに

岩手県では、平成 30 年 6 月 8 日に国が自転車活用推進計画を閣議決定したことを踏まえ、令和 3 年 3 月に岩手県自転車活用推進計画を策定しました。同計画に基づき、自転車を活用した観光振興等を促進するため、本県の地域特性を生かした岩手県広域サイクリングルート（以下「広域サイクリングルート」という。）を令和 7 年度までに整備することとしています。

広域サイクリングルートの設定にあたり、関係機関から意見を徴取するため、有識者等で構成される岩手県広域サイクリングルート検討会議等を経て、令和 6 年 3 月に、ルート及びルート名称が決定しました。4 つのルートの総延長は約 1,340km で、東北各県の基幹ルートでは本県が最長となります。

本稿では、本県における広域サイクリングルートについて紹介します。



図1 岩手県広域サイクリングルートの概要図



左のキャラクターは、岩手の名物「わんこそば」をモチーフにしたキャラクター「わんこきょうだい」です。

## 2. 広域サイクリングルート決定までの歩み

### (1) 広域サイクリングルートの検討について

ルートの設定にあたり、関係機関から意見等を徴取するため、有識者 21 名で構成される岩手県広域サイクリングルート検討会議（以下「検討会議」という。）を令和 5 年 1 月に設置し、令和 4～5 年度の 2 か年に渡り、5 回の検討会議を開催しています。

検討会議では、予めナショナルサイクルルートの指定要件を考慮したルートの設定方針やルート設定コンセプトを定めたうえで検討作業を進めてきました。

ルートの検討段階においては、広く意見を徴取するために、パブリック・コメントの実施や市町村への意見照会、関係機関や各道路管理者との協議を重ね、令和 6 年 3 月に 4 つのルートが決定しました。

表 1 サイクリングルート（基幹ルート、地域ルート）の比較と構成

■サイクリングルートの比較と構成※

|               | 基幹ルート（広域サイクリングルート）                         | 地域ルート                               |
|---------------|--------------------------------------------|-------------------------------------|
| ルートの<br>特徴    | 市町村を跨ぐような骨格となるサイクリングルート                    | （基幹ルート周辺の）地域の短距離のサイクリングルート          |
| コンセプト         | 空港や駅、都市部と目的地を結び、安全・安心に移動できる（案内や休憩施設が整っている） | 基幹ルートから離れている地域の観光地や景勝地等、隠れた地域資源を楽しむ |
| コース<br>レベル    | 主に、 <b>中級者～上級者</b> 向け                      | 主に、 <b>初級者～中級者</b> 向け               |
| 想定する<br>ターゲット | 休憩・宿泊施設を活用しながら、複数日に渡り長距離を走行する本格的なサイクリスト    | 地域の特色や観光を楽しみ、健康増進等を目的としたサイクリスト      |

※ 国土交通省資料（モデルルート設定の考え方）を参考に整理

### (2) 広域サイクリングルートの名称について

ルート名称については、各地域特性を踏まえた名称とすることを目的としたほか、広く愛着をもっていただくため、一般の方々から自由に応募いただく公募制を採用し、検討会議の構成員による投票を経て正式決定しました。

今回は 4 つのルート名称を同時に決定することから、統一感を確保するため、予め名称フォーマット（いわて〇〇〇〇ルート）や文字数制約（概ね 15 文字以内）を設ける等の工夫を凝らしています。

なお、公募は 1 ヶ月間という短期間ではありましたが、県ホームページのほか、道の駅や自治体でのポスター掲示に加え、SNS（県公式 X、当課 Instagram）、ラジオによる幅広い周知を実施した結果、全国から多数の応募をいただくことができました。



図 2 ルート名称の募集チラシ

表 2 ルート名称の公募結果

| 項 目            | 公募結果                                       |
|----------------|--------------------------------------------|
| 公募期間           | 令和 5 年 12 月 25 日から<br>令和 6 年 1 月 24 日まで    |
| 応募人数<br>（延べ人数） | 155 人                                      |
| 応募作品<br>総数     | 462 作品                                     |
| 年齢層            | 7～80 歳                                     |
| 応募者<br>居住地     | 東北各県のほか、<br>東京・神奈川<br>大阪・福岡・宮崎<br>鹿児島・長崎など |

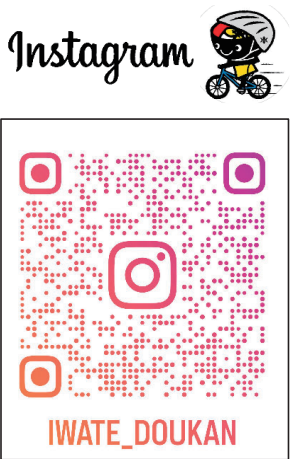


図 3 Instagram QR コード

# 【岩手県広域サイクリングルート図】

岩手県

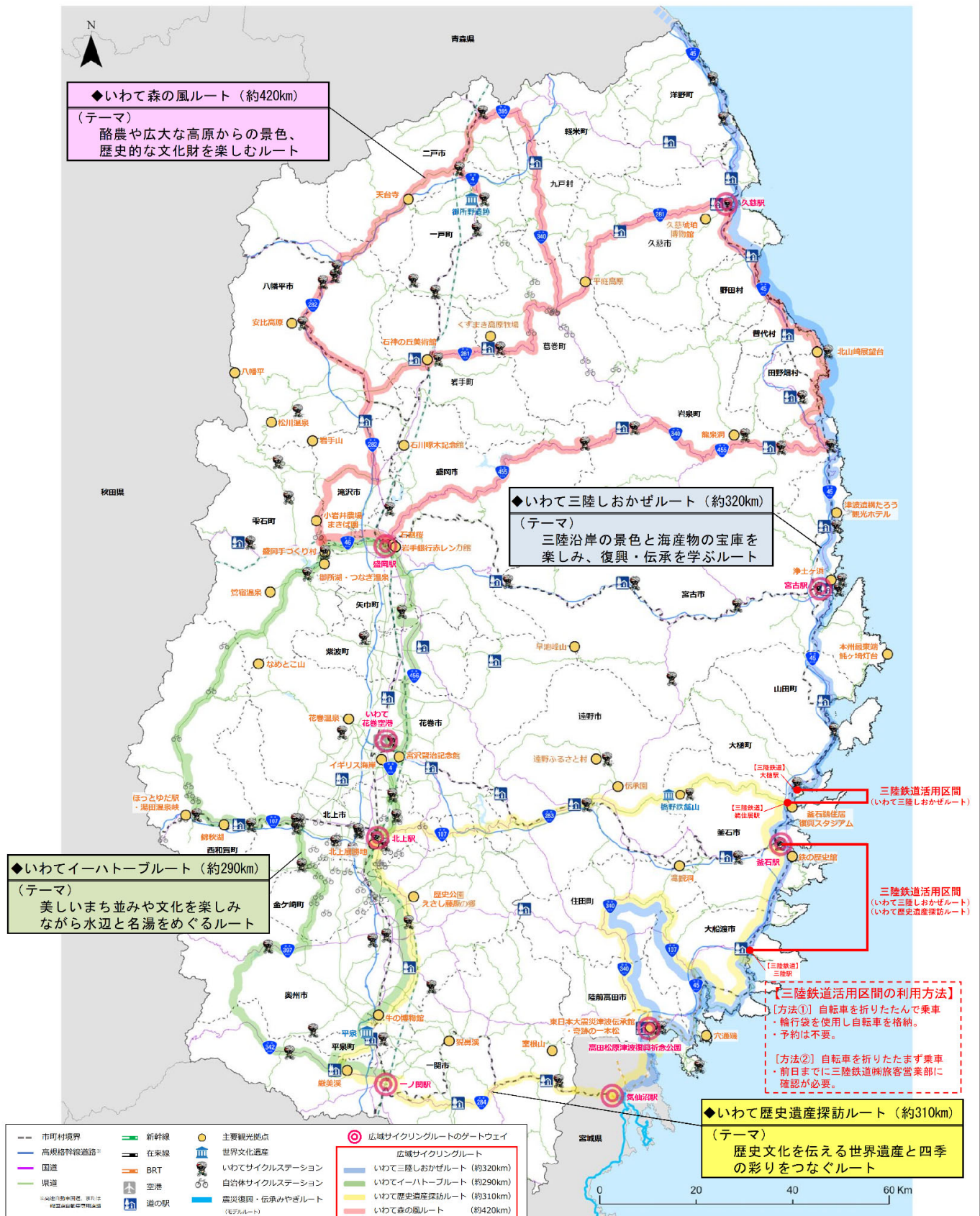
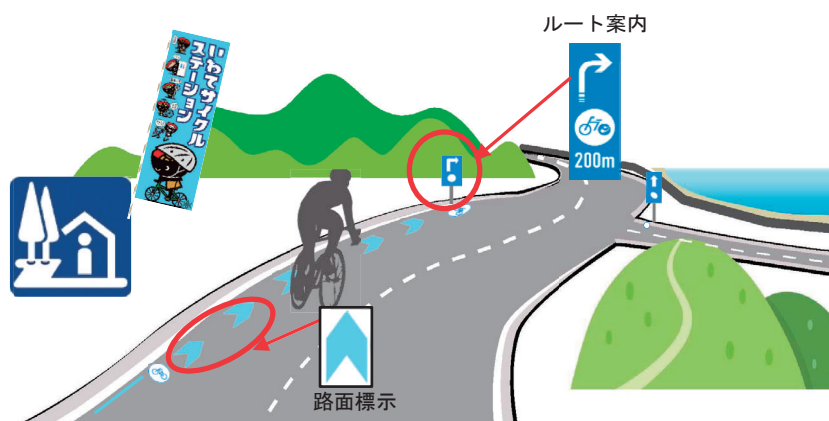


図4 広域サイクリングルート図（全体図）

### 3. 広域サイクリングルート of 今後の整備、サイクリング環境向上の取組紹介

#### (1) 広域サイクリングルート of 今後の整備について

本県は本州一の面積を有しており、4つのルート延長は約1,340kmに及ぶことから、多額の整備費用及び整備期間が必要となるため、優先的な整備区間を選定し、矢羽根やブルーライン等の路面標示や案内看板等の整備を効率的に進めていくこととしています。



出典：ナショナルサイクルルートの整備基準（国土交通省）に一部加筆

図5 広域サイクリングルート 整備イメージ図



写真1 路面標示の整備事例（盛岡市内）

#### (2) サイクリング環境向上の取組紹介（いわてサイクルステーション登録制度）

本県では、令和4年4月に「いわてサイクルステーション登録制度」を創設し、サイクリスト等の自転車利用者へ提供するサービスの充実を図り、自転車を活用した観光振興等を促進するため、次の要件を全て満たし、営業時間内に要件の設備を無償で利用できる施設を「いわてサイクルステーション」として登録しています。令和5年度末までに、76施設を「いわてサイクルステーション」に登録しています。

今後、広域サイクリングルートの沿線に登録施設の充実を図り、サイクリング環境の向上に努めていくこととしています。

表3 いわてサイクルステーションの登録要件

##### ～ いわてサイクルステーションの登録要件 ～

- 1 トイレが備わっていること
- 2 ベンチ等の休憩所が備わっていること
- 3 サイクルラック（スポーツサイクルが同時に3台以上駐輪、耐久性あり）が備わっていること
- 4 自転車修理用工具を備え、自転車利用者への貸出が可能
- 5 空気入れポンプ（英式、米式及び仏式バルブに対応、空気圧を確認できる目盛り付き）を備え、自転車利用者への貸出が可能



### 4. おわりに

おわりに、広域サイクリングルートの検討に携わっていただいた皆様、ルート名称を応募していただいた皆様に改めて感謝を申し上げます。今後は、広域サイクリングルートの整備を進めていくとともに、三陸鉄道株式会社や関係機関、市町村、隣県との連携を図りながら、観光コンテンツの充実や利用促進を図っていくこととしています。また、三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイルなどの観光資源を生かしながら、世界に誇る「ナショナルサイクルルート」への登録を目指していきます。